

## 日本看護図書館協会 2014 年度第 47 回研究会報告

教育・研究担当理事

北里大学看護学部図書館 福田文子

第 47 回研究会は 2014 年 8 月 21 日（木）～22 日（金）の 2 日間、昭和大学横浜キャンパスを会場に開催した。研究会のテーマは「多様化する情報環境における利用者支援」参加者数 74 名（内訳：会員 59 名、非会員 15 名）であった。研究会では、講演、教育講演、特別講演、事例報告、意見交換会、プロダクトレビューを行った。1 日目は、近藤雅人氏から「看護図書館と利用者との情報技術の距離」を講演していただいた。SNS を利用した学生への情報発信についてそれぞれの利点や欠点があること、教員と連携し学生のニーズを創り出すことが利用者との情報技術の距離を縮めることができると述べられた。

続いて、事例報告に入った。古関美津子氏からは「タブレット型コンピュータを使った図書館サービスの検討」について報告していただいた。臨床支援ツールを検索できる iPad を館内貸出し図書館サービスに活用できるかを目的に実施し、利用調査を基に、今後の課題など、結果報告を述べられた。赤堀美和子氏からは「慶應義塾大学看護医療学図書室での LibGuides を利用した情報提供サービスについて」について報告していただいた。LibGuides の説明、導入の目的、図書室での活用事例と今後の課題について述べられた。教育講演を佐藤和子氏より「看護における文献検索の変遷」についてお話いただいた。看護の二次資料「日本看護関係文献集 '73」の文献検索変遷と日本の看護教育の歴史を教えていただいた。

講義・事例報告を終え、1 日目の意見交換会を行った。30 分の短い時間を有効利用するため、あらかじめ参加者を 8 グループに分け、各グループの進行係を指名させていただいた。特にテーマを設けず、日頃の些細な疑問などを出し合い、メンバー全員が発言できるようにした。

2 日目は、プロダクトレビューから開始した。賛助会員 4 社から CINAHL Complete、医中誌 Web 最新情報、ピアオンライン、情報館 OPAC サービスが報告された。その後、事例報告に入った。志茂淳子氏からは「図書館広報における Facebook ページの活用について」を報告していただいた。Facebook ページ開設の経緯、Facebook の運用、投稿内容、今後の課題について述べられた。続いて、藤澤みどり氏による「湘北スタイルの図書館 Twitter 活用法」について報告していただき、湘北短期大学の概要、図書館の概要、Twitter を開始するための必要事項、図書館の基本ルール、Twitter の内容を画像で見せていただいた。この 2 件の事例報告は、各々の図書館広報に直ぐにでも活用できる内容だった。

特別講演は、中山和弘氏「ソーシャルメディア時代の情報リテラシーと看護」についてお話をいただいた。ソーシャルメディアを活用しての情報の取り扱い、イギリス・アメリカでの事例を挙げられ、情報の専門職になるためには、ICT とそのリテラシーは必須で、看護を学ぶ者にとって強い味方となると締められた。

解説では「電子 Book の導入から活用まで」を熊本保健科学大学の山崎栄子氏より、導入

の経緯、現在の利用状況等を話していただいた。次に、丸善「Maruzen eBook Library」、紀伊國屋書店「NetLibrary」2社から概要説明を受け、各館の電子book導入時期についてヒントを得ることができた。

2日目の最後も、意見交換会を行い、閉会とした。

研究会アンケート集計結果によると、回答者46名（回収率：62.1%）「大変有意義だった」30名、「有意義だった」12名、総評価として、全体のプログラムが充実していたとの声を複数いただいた。また、意見交換会での結果発表を設けなかったため「構えることなく自由な意見が飛び交い良かった」というご意見が複数あった。

会場校、昭和大学長津田校舎図書室の方々をはじめ、小口副図書館長、佐藤先生より、準備から研究会当日まで、ご協力とご配慮をいただき、昭和大学横浜キャンパス全体でのご支援に心より感謝し、お礼を申し上げます。また、各担当理事・監事の皆様には、研修会の開催にあたりお力添えをいただき感謝いたします。

暑い二日間の研究会へご参加くださった皆様、講師の皆様にもお礼を申し上げます。

## プログラム

8月21日（木）

12:30-13:00 <受付>

13:00-13:15 <開会>

開会挨拶：教育・研究担当理事 福田文子

会場校挨拶：昭和大学図書館 副図書館長 小口江美子先生

13:15-14:15 <講演>

昭和大学富士吉田教育部 講師 近藤雅人氏

「看護図書館と利用者と情報技術の距離」

14:15-14:30 <休憩>

14:30-15:10 <事例報告1>

(1) 東京慈恵会医科大学学術情報センター図書館国領分館 古関美津子氏

「タブレット型コンピュータを使った図書館サービスの検討」

(2) 慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター看護医療学図書室 赤堀美和子氏

「慶應義塾大学看護医療学図書室でのLibGuidesを利用した情報提供サービスについて」

15:10-15:20 <休憩>

15:20-16:20 <教育講演>

昭和大学保健医療学部看護学科 教授 佐藤和子氏

「看護における文献検索の変遷」

16:20-16:30 <休憩>

16:30-17:00 <意見交換会>

17:30- <懇親会>

8月22日 (金)

9:00-9:30 <受付・企業展示>

9:30-10:00 <プロダクトレビュー>

10:00-10:10 <休憩>

10:10-10:50 <事例報告2>

(1) 和歌山県立医科大学図書館三葛館 志茂淳子氏

「図書館広報におけるFacebookページの活用について」

(2) 湘北短期大学図書館 藤澤みどり氏

「湘北スタイルの図書館Twitter活用法」

10:50-11:00 <休憩>

11:00-12:00 <特別講演>

聖路加国際大学看護学部 教授 中山和弘氏

「ソーシャルメディア時代の情報リテラシーと看護」

12:00-13:30 <昼食・企業展示・図書室見学>

13:30-14:30 <解説>

電子BOOKの導入から活用まで

話題提供：熊本保健科学大学附属図書館 山崎栄子氏

丸善株式会社学術情報ソリューション事業部企画開発センター

電子書籍販売促進グループ 金森正晃氏

株式会社紀伊國屋書店営業総本部学術情報商品部 西田和之氏

14:30-15:00 <意見交換会>

15:00-15:15 <閉会>

閉会挨拶：教育・研修委員長 伊東泰子